



えんがわ

第43号

円空仏12体、町指定文化財に指定

町内には多くの文化財がありますが、文化財の中で重要なものについて町指定文化財として指定し保護、保存を図っています。これまでに東条原の獅子舞や西光院の朱印状など21件の文化財が指定されています。

今回、新たに指定となったものは、現在、町内で確認されている円空仏12体です。それらは、江戸時代前半、円空という僧によって彫られた像です。

円空は、寛永9年(1632)美濃国(岐阜県)に生まれました。前半生の様子を伝えるものはありませんが、1600年代後半、中部、関東、東北そして北海道の地まで廻り、それまでの仏像彫刻では見られなかったいわゆる「鉈彫り」と呼ばれる木切れを利用した独特の仏像や神像を作りました。その数は12万とも言われていますが、現在残っているのはわずかです。埼玉県は、岐阜県や愛知県に次いで多く残されています。ことに宮代町を始め春日部市、さいたま市岩槻区、蓮田市、越谷市といった県東部地区に多くの像が残されています。おそらく日光街道、日光御成道筋にあたることから、多いものと考えられています。

これらの円空仏は独特の表現をもち、同じも

のではないといわれています。こうした特徴を持った像の一つとして、また、各地を廻った円空の足跡の一端を知る資料として貴重であることから、今回町内で確認されている円空仏12体が新たに町指定文化財として指定されました。なお、町内の円空仏は御成道沿いに多く、小型のものが多いという地域性を持っています。

今回指定されたのは、以下のとおりです。



えんのぎょうじゃいぞう
役行者椅像 宝生院蔵



にょらいぎょうりゅうぞう
如来形立像 真藏院蔵



ぼさつぎょうざぞう
菩薩形坐像 西方院蔵



ごほうしんぞう
護法神像 個人蔵



あみだにょらいぎぞう
阿弥陀如来坐像 個人蔵



ぼさつぎょうざぞう
菩薩形坐像 西方院蔵



えびすてんりゅうぞう
恵比須天立像 個人蔵



ぼさつぎょうざぞう
菩薩形坐像 個人蔵



ぼさつぎょうざぞう
菩薩形坐像 個人蔵



えびすてんりゅうぞう
恵比須天立像 個人蔵



だいこくてんりゅうぞう
大黒天立像 個人蔵



ぼさつぎょうざぞう
菩薩形坐像 個人蔵

※埼玉県立歴史と民俗の博物館 2011「特別展 円空 心を刻む 一埼玉の諸像を中心に」 引用・参考

企画展 道仏北遺跡発掘出土品展Ⅱ

平成24年5月6日(日)まで、宮代町郷土資料館では、「企画展 道仏北遺跡発掘出土品展Ⅱ」を開催しています。

道仏北遺跡では平成15・17・18～19・20・21・22年度と6回にわたり発掘調査が行われてきました。今回の企画展は平成20年度に行われた、4回目の発掘調査で出土した遺物を紹介するものです。

平成20年度の調査は9月に試掘調査を実施し、遺跡であることが初めて確認されました。10月から翌年の2月にかけては発掘調査が実施され、縄文時代早期後半(約7,000年前)から中期初頭(約4,700年前)にかけての「縄文ムラ」があったことが分かりました。2月15日には遺跡の現地説明会が開催され、宮代町民や周辺自治体の住民約170名が参加されました。

道仏北遺跡では、18軒の住居跡が発掘されていますが、最も多くの住居跡が発掘されている時代は縄文時代前期中葉(約5,400年前)です。計6軒の住居跡が発掘されました。この時代の有名な遺跡としては蓮田市の黒浜貝塚がありますが、道仏北遺跡は黒浜貝塚より若干古めの土器が出土しており、黒浜貝塚でもあまり出土しない時期の土器であるため貴重といえます。

この他、縄文時代前期終末(約4,800年前)と中期初頭(約4,700年前)の集落も発掘されました。両時代とも埼玉県はもとより、日本全国でもそう多くは検出されない時期のもので非常に貴重といえます。

道仏北遺跡で集落が営まれていた時代、宮代町にまで東京湾がおよんでおり、一般的に奥東京湾と呼ばれています。道仏北遺跡は海沿いのムラでした。イメージ的には遠浅の潮干狩りが出来る海というよりは、標高7.2mの高台に集落を営み、5～10m程下の低地に海が広がっていた状態であったと推定されます。



展示風景



縄文時代前期中葉の土器 縄文時代中期初頭の土器



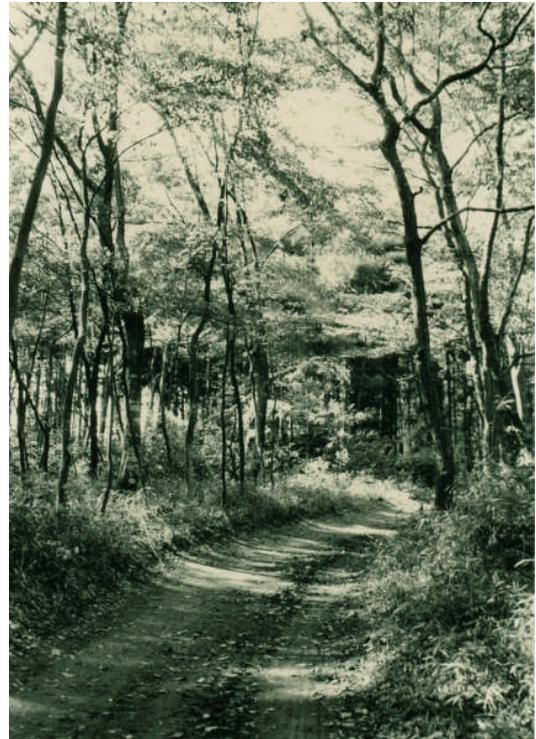
第10号住居跡。奥が第7号住居跡。いずれも縄文時代中期中葉(約5,400年前)

宮代紀行「山崎地区を行く」

宮代町郷土資料館では、平成24年5月12日から7月8日にかけて、宮代紀行の第2回目として「山崎地区を行く」が開催されます。

山崎地区は、旧石器時代約2万年前から人々の足跡が見られます。さらに山崎遺跡等で縄文時代草創期から後期(12,000~3,500年前)にかけての遺物や住居跡などの遺構が発掘され、古墳時代には埼玉県最古の鍛冶工房跡が発掘されています。こうした、山崎地区で発掘された貴重な土器や石器、鍛冶工房の遺物等を展示します。また、発掘された中世の板石塔婆や近世の陶器等の遺物もあわせて展示し、当時の暮らしの一端を紹介します。

また、江戸時代の村の様子や、重殿社、神明社などの社寺や地区の年中行事、山崎地区にある「緑のトラスト保全第5号地」、笠原沼のホツケなど、こうした山崎地区の歴史や文化財について古文書や写真などから見てゆきたいと思います。是非ご覧ください。



重殿社付近(昭和46年)

資料館日誌抄

- 10月29日 特別展「宮代の信仰」(12月25日まで)
- 12月4日 特別展関連講座「宮代の信仰」
- 12月4日 クリーンウォーキング職員派遣
- 12月7日 岩槻歴史の学習会見学(28名)
- 1月7日 巡回展「わがまちの宝物2」(2月26日まで)
- 1月25日 高野台小学校3年生社会科見学(43名)
- 1月27日 西光院遺跡試掘調査
- 2月2日 百間小学校3年生総合学習(93名)
- 2月8日 須賀小学校3年生総合学習(78名)
- 2月10日 東小学校3年生社会科見学(47名)
- 2月11・12日 郷土史講座(古文書に見る宮代の歴史)
- 2月24日 笠原小学校3年生社会科見学(45名)
- 2月25・26日 郷土史講座(古文書に見る宮代の歴史)
- 3月3日 企画展「道仏北遺跡発掘出土品展Ⅱ」(5月6日まで)

資料館寄贈者名簿

- | | |
|-------|------------|
| 菅井英樹氏 | 町民まつり等ビデオ他 |
| 斎藤 孚氏 | 民具 |
| 羽鳥浩光氏 | 民具 |
| 唐沢捷一氏 | 例規集 |
| 松井俊雄氏 | 民具 |
| 鈴木正男氏 | 民具 |
| 小山朋夫氏 | 雛人形 |

宮代町郷土資料館だより えんがわ 43号

発行日 平成24年3月31日

発行 宮代町郷土資料館

郵便番号 345-0817

住所 埼玉県南埼玉郡宮代町字西原289番地

電話番号 0480-34-8882

H P <http://www.town.miyashiro.saitama.jp>